

1360 | スペースデザイン研究

3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

牧野良三教授、富谷智講師、車田幸道講師

授業の概要と目標

[劇空間の演出性の考察と表現]

都市には、様々に演出された空間が混在する。例えば、イベントのための空間、演劇等の上演のための空間など特定の目的をもった施設、照明や造形物によって新たな意味を加えていく環境演出など多様な事例がある。その中軸となるのは、空間に劇的要素を加える演劇的手法である。テーマに応じて表現メディアをどのように組み合わせるか、演出手法の分析を通して学習する。

課題の概要

○面接授業課題

前半：劇的な空間表現手法の解説と事例の学習。台本分析。

後半：テーマを設定して、イメージを展開していく。

○通信授業課題

面接授業で実習したテーマのイメージスケッチ及び見取図を完成し、提出する。

*課題については学習指導書『空間設計I・II / スペースデザイン研究 / 卒業制作 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

面接授業



通信授業

[面接授業]

第1日 前提講義と課題説明

第2日 コンセプト作成と資料収集

第3日 イメージデザインの提示

第4日 イメージドローイング

第5日 ドローイングとプレゼンテーション・ボードの制作

第6日 制作、発表と講評

[通信授業]

面接授業で指定された空間とテーマに則して、スケッチと図面及び完成予想図を作成する。

成績評価の方法

通信授業と面接授業を総合的に評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] スペースデザインコース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.049の特例を除く）。

[備 考] 工芸工業デザイン学科スペースデザインコース4年次必修科目。

教材等

教科書：小石新八監修『スペースデザイン論』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

寺原芳彦 監修『インテリアデザイン』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

学習指導書：『空間設計I・II / スペースデザイン研究 / 卒業制作 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

その他

教科書の他、面接授業では劇場、イベント、テーマパークなどの事例を紹介する。

人工的な空間ばかりでなく都市と自然の関係にも対応して授業を進める予定。